

第36回 東京都中学生学年別柔道選手権大会 要項

1. 目的 試合を通して柔道の基本技能、礼法を正しく習得させると共に心身健康にして我国の将来を担う中学生の育成と、相互親睦を図ることを目的とする。
2. 主催 公益財団法人 東京都柔道連盟
3. 後援 (予定) 公益財団法人 講道館・東京都教育委員会・公益財団法人 東京都体育協会
4. 日時 令和7年1月26日(日) 開会式：10時00分
5. 会場 東京武道館 大武道場 〒120-0005 足立区綾瀬 3-20-1 TEL 03(5697)2111

6. 参加資格 (1) 選手は都柔連加盟団体に所属の「学校」・「道場」・「クラブ」等から東京都柔道連盟を通して全日本柔道連盟に「競技者登録」をしている中学校1年生・2年生・3年生の各男女とする
(3) 事故防止のため、休業期間 6ヶ月以上の者とする
(4) 体重区分は、下記のとおりとする

① 男子

学年	軽量の部	中量の部	重量の部	超重量の部
1年	50kg以下	50kgを超えて55kg以下	55kgを超えて66kg以下	66kg超
2年	55kg以下	55kgを超えて60kg以下	60kgを超えて73kg以下	73kg超
3年	60kg以下	60kgを超えて66kg以下	66kgを超えて81kg以下	81kg超

② 女子

学年	軽量の部	中量の部	重量の部
1年	44kg以下	44kgを超えて52kg以下	52kg超
2年	48kg以下	48kgを超えて57kg以下	57kg超
3年	52kg以下	52kgを超えて63kg以下	63kg超

7. 試合方法 男女別、学年別、体重別のトーナメント戦による
8. 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」・本大会申合せ事項で行う。
(2) 試合時間は2分間とする。(ただし、準々決勝戦以上の試合は、3分間とする)
(3) 判定の基準は「技有」または「僅差」とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する。※「僅差」とは「指導」差が2をいう。
9. 表彰 各学年男子(4クラス)・女子(3クラス)とも、優勝・準優勝・3位(2名)・敢闘賞(4名)までを表彰する。ただし、出場選手数により表彰人数を変えることがある。
10. 参加申込 (1) 申込締切 12月23日(月)

- (2) 申込方法 都柔連ホームページより申込書をダウンロードし、必要事項を入力の上、下記メール宛にチームでまとめて申込むこと。(個人での申込みは不可とする)

申込みアドレス：moshikomi@tojuren.or.jp

* 申込書はPDF等にせず、Excelデータのまま送付のこと。

* 都柔連より申込み完了メールおよび大会前に注意事項を送信します。

迷惑メールの対策などでドメイン指定を行っている場合、メールが受信できないことがありますので、「@tojuren.or.jp」を受信設定してください。

入力されたデータが組合せやプログラム、大会運営や広報に至るまで共通して使用されます。

間違いの無いように送信前に必ずご確認ください。

なお、性別・学年・体重の入力間違いが組合せ後に判明し、種別・階級が変更になる場合には「失格」扱いとなりますので十分ご注意ください。

出場選手数が2名以下：監督・コーチ合わせて2名まで

出場選手数が3名以上：監督・コーチ合わせて3名まで

※監督・コーチは全柔連公認指導者資格・学校顧問特例資格が有効な方

(3) 参加費 1人 1,000円(傷害保険加入費用含む)

大会当日、受付にて申込み団体ごとに請求書をお渡しします。大会終了後、お振込み願います。

なお、原則として組合せ後の欠場者についても参加費を請求させていただきます。ご了承下さい。

(4) 欠場について 欠場者の報告は、1月17日(金)までにご連絡ください。

それ以降の欠場については大会当日に「欠場者受付」にお申し出ください。

(5) 問合せ先 (公財)東京都柔道連盟 事務局

TEL 03-3818-5639 / 080-3505-4985 メール tojuren@tojuren.or.jp

11. 組み合わせ 令和6年12月26日(木) 都柔連事務所にて主催者が行う * 組合せ公開予定: 12月26日(予定)

12. 保険 (1) 主催者が、参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行う。

尚、万一の事故発生に備え、参加チームで別途傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策をたておくこと。

(2) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。

(3) 大会当日、参加者は健康保険証もしくはマイナンバーカード(コピーでも可)を必ず持参すること。

13. その他 (1) 計量

① 開会式前の待機時間に全員の計量を各試合場で行う。

② 計量は男女ともインナーと柔道衣の下穿きを着用した状態で行います。

申告体重は同様の状態で計った体重としてください。 ※男子: 試合中のインナー着用は不可

(2) ゼッケン

① 参加選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。

② 所属名は申込み団体名または在学中学校名とする。

③ ゼッケンを取り付けていない選手は、失格とする。

④ ゼッケンの仕様と縫い付け方。

a) サイズは横30~35cm・縦25~30cmとする。

b) 布地は白地(晒・太綾)。

c) 書体は太いゴシック体又は明朝体で横書きとし、男子は黒色、女子は濃赤色。

d) 苗字(姓)は上側2/3、所属名は下側1/3。

e) 縫い付けの位置は、後ろ襟から5~10cm下部とし、周囲と対角線に強い糸で縫い付ける。

図1 ゼッケンの縫付方

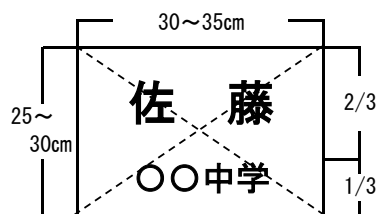
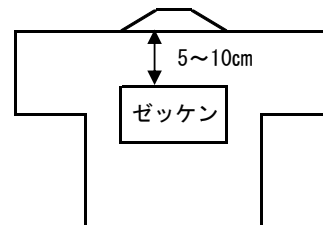


図2 ゼッケンの縫付位置



(3) 脳震盪について

- ① 大会前1か月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の治療を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
- ③ 練習の再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(4) 皮膚真菌症（トンスランス感染症）について

発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会への出場ができない場合もある。

(5) 監督・コーチとして入館する者は、審判員に準じた服装を基本とする。

* 男性：スーツ・ネクタイ着用（審判員ネクタイ不可） 女性：スーツ着用

(6) 監督の行為・言動について

* 試合が止まっている間（「待て」から「始め」）のみ、選手に対して指示を与えることができる

* 次の行為を禁止する

- ① 試合が続行している最中に指示を出すことや試合中に立ち上がること
- ② 対戦相手や所属の選手を侮辱する言動

(7) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

下記項目について、申込データの送信をもって了承されたものとし取扱い致します。

申込時に入力された個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・競技会場内外の掲示板等・都柔連ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合があります。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合があります。

大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合があります。